



## 教育は感化なり

子ども達は、一人一人が、未来を担う、かたがえのない存在です。私たちは、その前に立つ以上、魅力的かつ有用感のある学びを提供していきたいと考えています。今回は、趣向を変えて、中学部の生徒たちに伝えた話を紹介します。

### 中学部「選手激励会」にて

「宣誓！我々選手一同は『スポーツマンシップ』に則り…」

『スポーツマンシップ』って聞いたことがありますか？

何ですか？部活をしている人、考えていますか？

『He is a good sport.』は、「彼は信頼に足る人物だ。」

『sportsman=good fellow』は、「いい奴、いい仲間だ。」という意味です。今日は、スポーツマンシップについて私の考えを話します。

「勝敗=優劣」について、あなたは○、×、△どれですか？

試合をするのだから、勝敗が付きます。当然、勝つことを目標にして戦いますよね。人と競争したり勝負したりして、(勝って嬉しい、気分いい〜)と思ったことがありますか？これは、人間の心にある「優越感」。つまり、相手よりも勝っていることで自分を満足させる心が人間にはあるということです。試合に出られる人は優れていて、出られない人は劣っているのでしょうか？レギュラーは偉くて、補欠はえらいのでしょうか？

私は、この「優越感」裏返すと「劣等感」は、人間に備わっている「いじめの種」だと思います。「お前のせいで負けたんだ。」「○○の方がうまいのに、どうして□□が試合に出るんだ。」そんなくだらない発想や声が聞こえてきます。校長先生も中学生の頃、(補欠でしたが)ベンチ入りできなかったメンバー達から心ない言葉を浴びせられたことがあります。「副キャプテンやから、ベンチに入れたっちゃる。」彼らは声にこそ出しませんでしたが、「下手なクセに」と言いたいことが、私にはひしひしと伝わってきました。

もう一つ、中学時代の部活に関するエピソード。

校長先生はサード(三塁手)の補欠。レギュラーは「こうじ(以下K)」という保育所時代からの幼馴染でした。

Kは運動神経抜群で、どんなスポーツをやらせても、ものすごく上手です。彼のプレーは、しなやかで軽やかで美しく、とても敵わない、でも自分も上手になりたいから真似をしようといつも思っていました。ライバルというより憧れに近かったかな。そんなKは、部活を引退した後、野球の名門校からスカウトを受け、早々と進路が決まったんですね。校長先生は、すごく嬉しかったんです。レギュラーを争っていた同じポジションの仲間が強豪校からスカウトされるなんて、自分も認めてもらえたような気分になったのです。

ところがですね、今ぐらいの時期ですよ。Kは豹変したんです。まず、身なり。ツッパリ、ヤンキーって知っていますか？あれですよ、頭にはそり、制服もバリバリの校則違反。そして、態度。高校受験を控えて(さあ、やるぞ！)と勉強に向き合う仲間が大勢いる中で、授業妨害めいたことをしたり言ったりするんです。

「おらあ、どうせ頭がわりーから勉強なんかせんでいいっつよ！」

ふざけたり、茶化したりして、真面目に取り組もうとする雰囲気をごち壊すのです。校長先生はショックでした。(あんなにかっこよかった奴がなんなんだよ…)幼馴染で、憧れてあり自慢でもあったKです。校長先生は悔しさ、怒りが抑えられず、ある日の授業時間、グループ学習の時に言いました。

「K、おまえ、調子に乗んなよ。早々と高校が決まったから、勉強はせんでいいと思っちゃるじゃろうが。頭がわりーとか言いながら、実は、勉強がよだきだけじゃろうが！」

いったんヤンキーの道に足を踏み入れた手前、身なりこそ今までどおりですが、Kは次の日から変わりました。授業に真面目に臨むようになったのです。そして、「サメ、これ、どんげすつとかあ？」と、勉強を教わりに来るようになりました。

その後Kは私の望みどおり、かっこよくスカウトされた高校に進学し、その強豪校で活躍しました。プロには入れませんでしたでしたが社会人野球に進み、引退後は少年団の指導者などをやっていたようです。

試合に勝つこと、レギュラーになること、プロになることがゴールではありません。スポーツを通して、自分は何を学ぶのだろう。スポーツマンシップってなんだろう。視野を広げたり、考えを深めたりして、あなたの「人間性」を磨いてほしいと思います。

“野球が好きだ、バレーボールが好きだ、勉強が好きだ”

好きなことにとことん夢中になり、楽しめる仲間であってほしいと願っています。応援を楽しみにしています。

### 生徒会役員選挙にて

今日は生徒会選挙ですね。「こんな学校にしたい」「こんな生徒でありたい」それを実現するために掲げた具体的な公約について、立候補した8名の皆さんが演説してくれれます。その中から、皆さんは投票をして、役員を選ぶんですね。

立候補した皆さん、みんなを動かしたいという熱いものをもっていませんか？仕事や苦労が多いけど、めげずに続けられますか？大きな挑戦だと思います。応援しています。

投票する皆さん、立候補者が目を付けた課題について人ごとにせず真剣に考えましたか。選ばれた役員さんとともに、よりよいものを求めて、あなたも力を尽くしてください。

皆さんは近い将来、社会に出ていきます。そのための練習・準備として、今、いろいろな「学び」「経験」をたくさん積み重ねようとしています。そうした自分の「学び」「経験」が、実際の社会とどのようにつながっているか、社会のことを知ったり考えたりしていますか。

日本国憲法の三原則は？「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」ですね。実際の社会は、どんな状況だか興味をもって知ろうとしていますか？

○ 国民主権：依存国家(資源のみならず、政治や社会がどうにかしてくれるだろうという依存意識の高い国民)

○ 基本的人権の尊重：大人の社会でもいじめや差別・偏見がなくなる現状

○ 平和主義：日本は世界中で唯一の被爆国でありながら、核兵器禁止条約に不参加、核の傘に身を寄せている。

今、教育分野において、特に力を注ぐべきだと言われているのが、「主権者教育」です。これは、「国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していく主権者を育成していくこと」を目標としています。

▶ 生徒会で何をするのか

ただ、役員を決めて、生徒会行事をこなして…、が、目的ではありません。

▶ 学校で何を学ぶのか

希望する進路に進むために、国語・数学・英語…を学び、試験に合格する…、が目的ではありません。

もう一度、言います。

自分の「学び」や「経験」が、実際の社会とどのようにつながっているか、自分が飛び込もうとする社会はいついどうなっているのか、興味をもって知ったり考えたりしてほしいと思います。

社会は解決の難しい問題だらけです。今や、答えも1つではないと言われる時代です。あなたの目の前に立ちふさがる壁を、何とかクリアしていこうとする「知恵」と「我慢強さ」をどうぞ身に付けていってください。そのためにある、「学び」や「経験」にしっかり向き合ってください。

校長だから、いい話をして当たり前？いやいや、私だって勉強をしないと子ども達の前立つ資格はないと思っています。アウトプットしながら、いつも自戒や再認識をしています。